

支 部	通 信
同 舟	
No. 22	号
11月 11日	編集発行
高野 豊次	東京都宅地建物 取引業協会 府中支部 編集兼発行人

十一月定例理事会開催

とき 十一月六日午後四時より

ところ ダイワ不動産

出席者 山村、辻、平井、石黒、結城、五島、

内山、高野、楨崎、各理事及び加藤監査

要預次の通り

一、協議及び伝達事項

(イ) 秋季懇親旅行会の決算について

平井理事より各目により詳細報告あり一同これを了承した。但し剰余金一万二千五百円を生じたるをもつて如何にすべきかを協議の結果これは次回旅行費に充当のこととし、別途積立預金することとした。

(ロ) 本部制定業務手帳について

協会本部に於て制定した業務手帳は一冊二百円

◎ 税務説明及び指導会開催

調布支部と当支部との共同主催である、税務説明及び指導会は十月二十二日午後二時より、八千代信用金庫府中支店二階会議室に於て開催した。

参加する者二十五名、府中税務署よりは法人課長外数人がみえ熱心に説明指導あり一同も質疑などして、実に有益であつた。

〃 人と店 〃

府中市役所前にはていや不動産がある。

店主、小川一雄君は由木越野の産、本年四十七才である。旧陸軍の衛生準尉で所謂 職業軍人であるが昭和三十五年、取引任者資格試験に合格、同三十七年七月に不動産業の登録をうけた。

然しそれ以前にも不動産業を手がけておつたので通算すると七年以上ともなり、業務に対してはベテランである。特に温厚であり所謂 軍人上りの為、お世辞はないがすべてに几帳面で従つて顧客も増加する一方である。

店は夫と二人きり、華やかなところはなすが商売は実に堅実である。自らほていに似ているといふのでほていやの屋号をつけたという。

家庭は子供はなく淋しいが反面、晩酌を好み、又小鳥など飼つて生活は実に悠々自適である。

今後の努力と自重自愛を望んで止まない。

につき希望者は十一月十日までに支部に申込みたい。

(イ) 店内掲示ポスター等について

各店内に掲示するポスター等無料配付につき有効に掲示せられ度い。

(ロ) 十月分本部々会模様について

A 指導部会

結城指導部員より部会の模様詳細報告あり特に今後抜打的に各店舗に指導員が出張して業法に定められた事項に関し指導ある由につき各店主はこれに対し遠慮なき様万全の措置を希望する。

B 総務部会

辻総務部員より免許申請その他本部移転等に関し委細報告あり。

◎ 消 息

紀ノ国屋商事(株)勤務

池 下 文 一

は十月三十日付を以つて同社を退社

◎ 秋季懇親旅行記

十月十九日朝八時、大國魂神社に集合した一行は実に六十六名、カクタスの大型バス一台に乗切れぬ盛況で、五名許りは自家用車で出発することとした。出発は八時をやゝ過ぎたがバスは川越街道より所沢、次いで大宮を経て一路岩槻街道を突走る。

車内はとても賑やかで特にガイドさんの説明は博学でなかなかおもしろい。石橋で昼食後、今市を経て日光街道に入る。最近営業を開始した才二いろは坂を上ることしばし、あたりは未だ紅葉には早いながらも然しヌデル、ウルンの類は血を染めた如く、一方緑のカラ松林には白樺の葉がみかん色に映えてそのコントラストは実に絵を見るよりも鮮かである。

中禅寺湖畔をUターンして、華嚴の滝を覗き、今度は旧いろは坂を下る。カーブの一つ一つにいろは四十八文字が記載してあるが、なかなかの急坂、急カーブで補助イスにでもしてみついでおらぬと倒れそうである。

時間の都合で、東照宮の参拝を断念し、再び今市にもどり、鬼怒川を経て午後四時過ぎよりやく川治温泉、東山閣に安着した。

一風呂あびたのち、午後六時より宴が始まる先づ加藤武氏の司会により、山村支部長の挨拶、粟山前理事長の祝辞、ついで来賓として、八千代信用金庫、宮田支店長の挨拶あり、調布恵三不動産加藤政五郎氏の本会を離脱するの言葉などがあつて、直ちに酒宴に入る。

美妓あり、酒あり、ビールありでいやが上にも宴会気分をもちたてたが、マイクの故障で歌い手の美声もすみずみにとどかず、聊か淋しかつた。こゝで一応宴をたち美女の踊りをみる。照明と五体の美しさにみとれる程に美女再三来りて衣を吾々の頭上深くかむせる。ある者は奇声を発してこれをつけ、ある者は蛙をふみつぶした様な格好にて喜ぶあり、年令の相違こそあれ、すべてを忘却しての喜びある。シヨイをとじたその後は、三三五伍々、集りて囲碁に興ずる者、美妓を抱えて再宴する者、あるいは野天風呂に興ずる者等、夜は更けたりといえども不夜城を呈した。

翌廿日は九時朝食、十時すぎ又バスの人となる。

五十里湖をみて、大谷観音に至りこゝで昼食、採石場など見て、一路帰路につく。途中金子氏の長時間に亘る民謡の車内指導あり、一同ねむることなく終始賑やかにさわぎたてた。但し疲労のせいか急患二人が出たが、これ又医師の手当よろしく午後七時櫛並木に帰着した。かくして延々実に七百キロに亘る一泊二日の懇親旅行も愉快に無事終了した。

因みに本旅行につき特に、平井、辻両理事のお骨折りを感謝し、合はせてこの催しに多大の寄附を下さつた左記商社各位に対し深甚の謝意を表してこの筆を擱く。(高野)

ダイヤ不動産	二万円	高野不動産	一万円
たま土地	一万円	八広不動産	一万円
えびすや不動産	一万円	大邦大明不動産	一万円
紀の国屋不動産	一万円	朝倉商事	一万円
山岸不動産	五千元	共栄商事	五千元
恵三不動産	五千元	八千代信用金庫	五千元
守屋商会	三千元	住友銀行	三千元
中島司法書士	二千元		

編集後記

○ 楽しい旅行会もすみ早や十一月となつた。  
 ○ 然し依然景気は不況である。一体他の業者はどうしておるのかしらと一人つぶやく  
 ○ 最近では貸家、アパートを捜す人さええめつありへり実に寒心にたたえない。  
 ○ こうした時に思い出すのは多角経営だ、特に不動産の収入の浮動性に鑑みその感切なるものがある。

○ 然し余りシメシメしたこと許り考えても仕方ない。一つから元気でも出そうじやないか。  
 昭和四十年十一月六日夜 高野しるす